

EXILIM

液晶デジタルカメラ

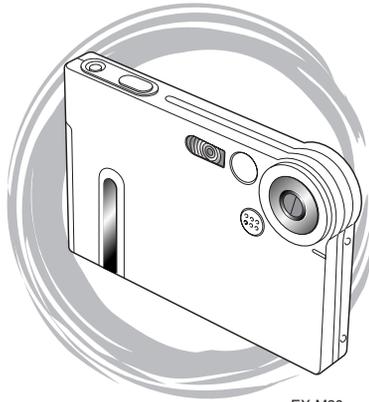
EX-S20/EX-M20

取扱説明書 (保証書付き)

ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用前に必ず別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。
- 本製品に関する情報は、ExilimオフィシャルWebサイト (<http://www.exilim.jp/>) またはカシオホームページ (<http://www.casio.co.jp/>) でご覧になることができます。



EX-M20

CASIO

K858FCM1PMJ

J Z

はじめに
早分かりガイド
準備する
撮影する(基本編)
撮影する(応用編)
再生する
消去する
ファイルの管理について
その他の設定について
メモリーカードを使用する
パソコンでファイルを見る
パソコンでファイルを活用する
音楽を楽しむ
付録

はじめに

付属品の確認

箱を開けたら、まず以下の付属品が全部そろっているかどうかをご確認ください。もし、これらの付属品が全部そろっていなかった場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

デジタルカメラ本体  EX-M20	リチウムイオン充電電池 (NP-20) 	USBクレードル (CA-23) 
専用ACアダプター (AD-C51J) 	ストラップ 	CD-ROM 
液晶リモコン 	ステレオヘッドホン 	取扱説明書 

※EX-M20のみ付属 ※EX-M20のみ付属 ※保証書付き

2

目次

はじめに

2

■ 付属品の確認	2
■ 目次	3
■ あらかじめご承知いただきたいこと	9
■ 本機の特徴	10
■ 使用上のご注意	12
撮影前のご注意	12
データエラーのご注意	12
使用環境について	12
結露について	12
レンズについて	12
その他の注意	13

早分かりガイド

14

■ はじめに電池を充電する	14
■ 画面メッセージの言語/日時を設定する	15
■ 撮影する	16
■ 撮影したファイルを見る(再生する)	16
■ 撮影したファイルを消去する	17

準備する

18

■ 各部の名称	18
カメラ本体	18
USBクレードル	19
■ 液晶モニターの表示内容	20
RECモード時	20
PLAYモード時	21
液晶モニターの表示内容を切り替える	21
■ ランプについて	22
■ ストラップを取り付ける	22
■ 電源について	23
充電式電池を入れる	23

3

はじめに

充電式電池を充電する	24
電源に関する使用上の注意	27
電源を入れる/切る	29
電池の消耗を抑えるための機能(オートパワーオフ)	29
■ メニュー画面の操作について	30
■ 表示言語/日時を設定する	31

撮影する(基本編)

34

■ 基本的な撮影のしかた	34
カメラの正しい構えかた	34
撮影する	35
撮影時の画面のご注意	36
撮影時のご注意	36
■ ズームを使って撮影する	37
■ フラッシュを使って撮影する	38
フラッシュ使用時のご注意	39
■ 近くの物を撮影する(マクロ撮影)	39
■ セルフタイマーを使って撮影する	40
■ 画像サイズと画質を変える	41
画像サイズを変更する	41
画質を変更する	42

4

撮影する(応用編)

43

■ 露出を補正する(EVシフト)	43
■ ホワイトバランスを変える	44
マニュアルホワイトバランスを設定する	45
■ ささまざまなシーンを選んで撮影する (ベストショットモード)	46
撮影したいシーンを登録する(カスタム登録)	48
■ 二人で記念撮影をする(カップリングショット)	49
■ 好みの構図で記念撮影をする(プリショット)	51
■ 動画を撮影する(ムービーモード)	52
■ 音声を記録する(EX-M20のみ)	54
画像に音声を加えて記録する (音声付き静止画撮影モード)	54
音声のみ記録する(ボイスレコードモード)	55
■ ヒストグラムを活用する	56
■ 各種機能を設定する	58
ISO感度を変える	58
グリッドを表示する	58
撮影した画像を確認する(撮影レビュー)	59
左右キーに機能を割り当てる(キーカスタマイズ)	59

上下キーに機能を割り当てる(キーカスタマイズ) ...	60
各種設定を記憶させる(モードメモリ)	60
各種設定をリセットする	61

再生する 62

■基本的な再生のしかた	62
音声付き画像を再生する(EX-M20のみ)	63
■反転表示させる	64
■画像を拡大して表示する	65
■画像サイズを変える(リサイズ)	65
■画像の一部を切り抜く(トリミング)	66
■動画を再生する	67
■カレンダー表示をする	68
■画像を自動的にページめくりさせる (スライドショー)	69
表示画像を設定する	70
時間を設定する	71
間隔を設定する	71
USBクレードルにセットしたままスライドショー させる(フォトスタンド機能)	71

■回転表示させる	72
■画像ルーレット機能を使う	73
■画像に音声を追加する (アフターレコーディング機能)(EX-M20のみ)	74
■音声を再生する(EX-M20のみ)	76

消去する 77

■1ファイルずつ消去する	77
■全ファイルを消去する	78

ファイルの管理について 79

■フォルダの分類について	79
メモリ内のフォルダ/ファイルについて	79
■記録したファイルにメモリープロテクト (消去防止)をかける	80
1ファイル単位でメモリープロテクトをかける	80
全ファイルにメモリープロテクトをかける	81
■DPOF機能について	81
1画像単位で印刷設定を行う	82
全画像に印刷設定を行う	83

5

■PRINT Image Matching IIについて	83
■Exif Printについて	84
■USB DIRECT・PRINTについて	84
■お気に入りフォルダを使う	86
お気に入りフォルダにファイルをコピー(登録)する	86
お気に入りフォルダのファイルを表示する	87
お気に入りフォルダから1ファイルずつ消去する	87
お気に入りフォルダの全ファイルを消去する	88

その他の設定について 89

■操作音のオン/オフを切り替える(EX-S20)	89
■カメラの音を設定する(EX-M20)	89
3種類の音を設定する	89
音量を設定する	90
■起動画面のオン/オフを切り替える	90
■エンディング画面に表示する画像を設定する	91
エンディング機能を設定する	91
エンディング画面に表示する画像の設定を解除する	92
■ファイルの連番のカウンタ方法を切り替える	92

6

■アラームを鳴らす	93
アラームを設定する	93
アラームを止める	93
■日時を設定し直す	94
ホームタイムの都市を設定し直す	94
ホームタイムの日時を設定し直す	94
日付の表示スタイルを切り替える	94
■ワールドタイムを表示する	95
ワールドタイムを表示させる	95
ワールドタイムを設定する	95
サマータイムを設定する	96
■表示言語を切り替える	96
■内蔵メモリーをフォーマットする	97

メモリーカードを使用する 98

■メモリーカードを使う	99
メモリーカードを入れる	99
メモリーカードを取り出す	99
メモリーカードをフォーマットする	100
メモリーカードのご注意	100

■ファイルをコピーする	101
内蔵メモリーからメモリーカードにファイルを コピーする	101
メモリーカードから内蔵メモリーにファイルを コピーする	102

パソコンでファイルを見る 103

■お持ちのパソコンがWindowsの場合	103
USB接続時のご注意	107
■お持ちのパソコンがMacintoshの場合	108
USB接続時のご注意	110
■パソコンでいろいろなことができます	111
■メモリーカードを直接接続して取り込む	111
■メモリー内のデータについて	112
DCF規格について	112
メモリー内のディレクトリ構造	113
このデジタルカメラで扱える画像ファイル	115
パソコン上で内蔵メモリー/ メモリーカードを扱うときの注意点	115

パソコンでファイルを活用する 116

■アルバム機能を使う	116
アルバムを作成する	116
アルバムのレイアウトを選ぶ	117
アルバムの詳細を設定する	118
アルバムファイルを見る	120
アルバムを保存する	122
■ソフトをインストールする	122
付属のCD-ROMについて	122
パソコンの動作環境について	123
インストールする	124

音楽を楽しむ (EX-M20のみ) 128

■オーディオファイルをメモリーに取り込む	128
■オーディオプレイヤーを準備する	129
■オーディオプレイヤーを使う	130
各部の名称	130
基本的な操作のしかた	131

7

■さまざまな方法で再生する	132
再生モードを選んで再生する	132
ランダムに曲を選んで再生する	132
リスト表示から曲を選んで再生する	133
再生する曲の順番を指定する	133
低音を強調する(BASS BOOST)	135
■メモリーに取り込んだMP3ファイルを消去する	135
1ファイルずつ消去する	136
全ファイルを消去する	136
■誤ってボタン操作するのを防ぐ(誤動作防止)	137
■リモコンに表示されるエラーメッセージについて	137
■オーディオプレイヤーに関するご注意	138

付録 139

■メニュー一覧表	139
RECモード	139
PLAYモード	140
■ランプの状態と動作内容	141
カメラ本体のランプ	141
USBクレードルのランプ	143

8

■故障かな?と思ったら	144
現象と対処方法	144
画面に表示されるメッセージ	147
■主な仕様/別売品	148
主な仕様	148
別売品	152
■サービスステーション/相談窓口	153
カシオテクノ・サービスステーション	153
カシオお客様ご相談窓口	153
■保証規定	154
■保証・アフターサービスについて	155
■索引	156
■ExilimオフィシャルWebサイトのお知らせ	163

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたので、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になる場合は、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 万一、Photo Loader、Photohands使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■著作権について

個人で楽しむ場合などの場合は、画像/動画フォーマットファイル、音声/音楽フォーマットファイルを権利者に無断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのファイルの有償・無償に関わらず権利者に無断でネット上で記載したり、第三者に配付したりすることも著作権法や国際条約で固く禁止されています。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

- SDロゴは登録商標です。
- Windows、Internet ExplorerおよびDirectXは米国マイクロソフト社の商標です。
- AppleおよびMacintoshは米国アップルコンピューター社の商標です。
- MultiMediaCard™は、独Infineon Technologies AG社の商標であり、MMCA(MultiMediaCard Association)にライセンスされています。
- AcrobatおよびAcrobat Readerは、Adobe Systems Incorporatedの商標です。
- USBドライバ(マストレージ)はPhoenix Technologies社のソフトウェアを使用しています。Compatibility Software Copyright© 1997 Phoenix Technologies Ltd. All Rights Reserved.
- MPEG Layer-3 オーディオ・デコーディング・テクノロジーは、Fraunhofer IISおよびThomson Multimediaからライセンス供与されています。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
- Photo Loader、Photohandsはカシオ計算機(株)の著作物であり、上記を除き、これにかかわる著作物およびその他の権利はすべてカシオ計算機(株)に帰属します。

本機の特徴

- 有効画素数200万画素
フォトプリンター等で綺麗に印刷できる有効画素数200万画素(CCD総画素数211万画素)の高画質CCD搭載。
- クイックな操作性を実現する単焦点・固定焦点レンズ
レンズの初期動作が早い。起動時間が短く、また、撮影時の素早いシャッターも実現します。
- メモ用途に便利なマクロ機能
- レンズ保護の小型電動レンズバリア
- 1.6型TFTカラー液晶モニター搭載
- 4倍デジタルズーム搭載
- 10MBフラッシュメモリー内蔵
メモリーカードを使用しなくても撮影ができます。
- 拡張メモリーカードとしてSDメモリーカードとMMC(マルチメディアカード)に対応
- カメラをUSBクレードルにセットするだけで、カメラ内の充電式電池を充電することができます。
- カメラをUSBクレードルにセットするだけで、簡単にパソコンへ画像データを転送することができます。

- フォトスタンド機能搭載
カメラをUSBクレードルに重ねたまま、撮影した画像をスライドショー表示できるので、フォトスタンドとして楽しめます。
- ベストショット機能搭載
煩わしい設定をカメラが自動的に行うので、簡単に綺麗な写真を撮ることができます。
- 2つの記念撮影支援機能を搭載
二人きりでも二人揃って記念撮影ができるカップリングショット機能、安心して他人に構図をまかせることができるプリショット機能があります。カップリングショット機能とプリショット機能はベストショット機能の中にあります。
- 画像ルーレット機能
カメラ内の画像を液晶モニターでルーレットのように送りながら1枚の画像を選択することができます。
- トリプルセルフタイマーモード搭載
セルフタイマー撮影を自動的に3回くり返すモードを搭載しました。
- リアルタイムヒストグラム機能を搭載
ヒストグラム表示を確認しながら露出の調節ができます。難しい露出条件でも、意図した露出の画像が手軽に撮影できます。
- ワールドタイム機能搭載
簡単に現地の時間にセットできます。世界162都市(32タイムゾーン)に対応しています。

- アラーム機能搭載
アラーム機能付きですので、目覚まし時計の代わりにもなります。また、登録した画像をアラームと同時に表示させることもできます。
- アルバム機能搭載
撮影した画像をレイアウトしたHTMLファイルを作成し、Webブラウザで見たり、印刷することができます。また、自分のホームページ用データとしても利用することができます。
- カレンダー表示が可能
1ヶ月分のカレンダー表示の日付上に、その日に撮影した最初の画像を表示させることができ、見たい画像を素早く探すことができます。
- DCF(Design rule for Camera File system)対応
画像データは統一規格のDCF規格に準拠しているため、同規格に準じた他の機器との互換性があります。
- DPOF(Digital Print Order Format)対応
DPOF規格に対応しているため、同規格に準じたデジタルDPEサービスを簡単に利用することが可能です。
- PRINT Image Matching II対応
本製品はPRINT Image Matching IIに対応しています。PRINT Image Matching II対応プリンタでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

- USB DIRECT・PRINT対応
本製品はセイコーエプソン株式会社提唱のUSB DIRECT・PRINTに対応しています。本製品はUSB DIRECT・PRINT対応プリンタに直接接続し、デジタルカメラのモニター上で写真選択や印刷開始を指示することができます。
 - Photo Loader、Photohands付属
好評な自動取り込み機能を備えたPhoto Loaderを付属。レタッチ機能を備えたPhotohandsも付属。更に多彩に画像を活用できます。
- ※EX-M20にのみ、下記の機能が搭載されています。
- 画像撮影後、続けて音声も録音可能な音声付き静止画像撮影モードを搭載
 - 音声付きムービー撮影機能を搭載
 - 音声を録音することができるボイスレコード機能を搭載
 - 撮影済みの画像に音声を追加するアフターレコーディング機能を搭載
 - オーディオプレイヤーとして使用可能
お手持ちのMP3(MPEG-1 Audio Layer-3/MPEG-2 Audio Layer-3)ファイルの音楽データを再生することができます。
 - カメラの音設定が可能
電源オン時の起動音、撮影時のシャッター音、キー操作時の操作音を、好みに合わせて設定することができます。

使用上のご注意

撮影前のご注意

必ず事前にためし撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

データエラーのご注意

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下の取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。
 - －カメラの動作中に電池やメモリーカードを抜いたり、USBクレードルにセットした
 - －電源を切ったときに【動作確認用/フラッシュチャージランプ】が点滅している状態で電池やメモリーカードを抜いたり、USBクレードルにセットした
 - －通信中にUSBケーブルがはずれたり、USBクレードルからカメラやACアダプターがはずれた
 - －消耗した電池を使用し続けた
 - －その他の異常操作

このような場合、画面にメッセージが表示される場合があります(147ページ)。画面に対応したご処置をお願いいたします。

使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、0℃～40℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
 - －直射日光のある場所、湿気やホコリの多い場所
 - －冷蔵庫装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
 - －日中の車内、振動の多い場所

結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く(結露)ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に充分慣らしてから取り出して、電池ボックスを開けたまま数時間放置してください。

レンズについて

- レンズ面は強くこすったりしないでください。レンズ面に傷が付いたり、故障の原因となります。
- レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、レンズ面に触れなくてください。レンズ面の汚れは、プロアールなどでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

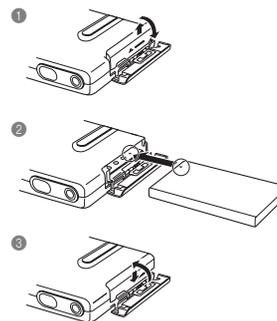
その他の注意

- スポンのポケットに入れたまま座るなど、カメラ本体に無理な力が加からないようご注意ください。液晶画面が割れる恐れがあります。
- 使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 本機が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

早分かりガイド

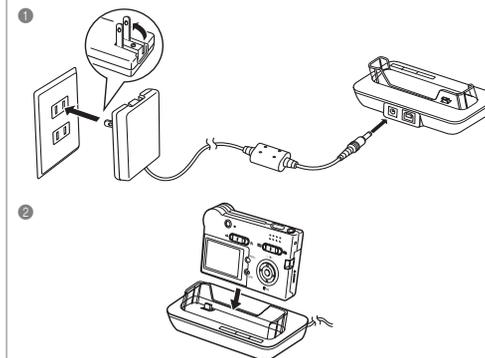
はじめに電池を充電する

1. 電池を入れます(23ページ)。



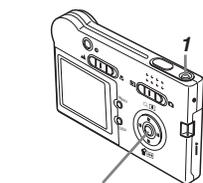
2. カメラをUSBクレードルにセットして、電池を充電します(24ページ)。

- 約2時間でフル充電されます。



画面メッセージの言語/日時を設定する

重要! • お買い上げ後、初めて撮影する前に設定してください(詳しくは31ページ参照)。

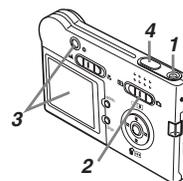


2, 3, 4, 5, 6, 7, 8

1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。
2. 【▲】を押して言語(日本語)を選び、【SET】を押して言語を設定します。
3. 【▲】【▼】【◀】【▶】で自宅都市のエリアを選び、【SET】を押して自宅都市のエリアを選びます。
4. 【▲】【▼】で自宅都市を選び、【SET】を押して自宅都市を設定します。
 - 日本で使う場合は「Tokyo」を選んでください。
5. 【▲】【▼】でサマータイムの設定を選び、【SET】を押してサマータイムを設定します。
 - 日本で使う場合は「切」を選んでください。
6. 【▲】【▼】で日時の表示スタイルの設定を選び、【SET】を押して表示スタイルを設定します。
7. 日付と時刻を合わせます。
8. 【SET】を押します。
 - 設定を終了します。

撮影する

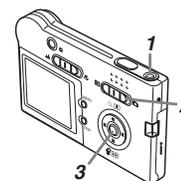
(詳しくは34ページ参照)



1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。
2. 【モードスイッチ】を「REC」(REC)に合わせます。
3. カメラを撮影する被写体に向け、【液晶モニター】または【ファインダー】を覗いて、構図を決めます。
4. カメラを固定し、静かに【シャッター】を押します。

撮影したファイルを見る(再生する)

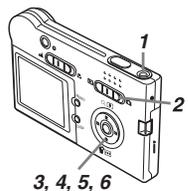
(詳しくは62ページ参照)



1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。
2. 【モードスイッチ】を「PLAY」(PLAY)に合わせます。
3. 【◀】【▶】を押すと、記録したファイルの戻し/送りができます。

撮影したファイルを消去する

(詳しくは77ページ参照)



1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。
2. 【モードスイッチ】を「▶」(PLAY)に合わせます。
3. 【▼】(◀)を押します。
4. 【◀▶】を押して、消去したいファイルを選びます。
5. 【▲】(▼)を押して、「消去」を選びます。
 - 消去を中止したいときは、「キャンセル」を選んでください。
6. 【SET】を押します。
 - ファイルが消去されます。

準備する

初めてご使用になる方はここからお読みになり、撮影前の準備を行ってください。

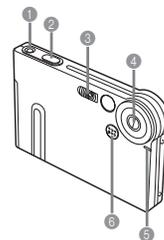
- この取扱説明書ではEX-M20のイラストを記載しています。EX-S20とEX-M20の相違点は各章をご覧ください。

各部の名称

この取扱説明書では、本機の各部の名称を次のように【 】を使って表記します。スイッチやボタンなどの場所がわからなくなった場合は、こちらをご参照ください。

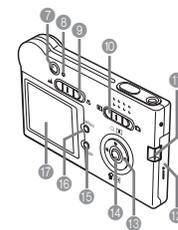
カメラ本体

■前面部



- 1 【電源ボタン】
- 2 【シャッター】
- 3 【フラッシュ】
- 4 【レンズ】
- 5 【セルフタイマーランプ】
- 6 【マイク】(EX-M20のみ)

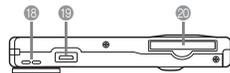
■後面部



- 7 【ファインダー】
- 8 【動作確認用／フラッシュチャージランプ】
- 9 【標準／マクロ切替スイッチ】
- 10 【モードスイッチ】
- 11 【ストラップ穴】
- 12 【電池カバー】
- 13 【▲】(▼)【◀】(▶)
- 14 【SET】
- 15 【DISP】
- 16 【MENU】
- 17 【液晶モニター】

準備する

■底面部



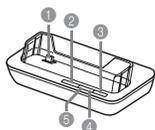
- 18 【スピーカー】(EX-M20のみ)
- 19 【クレードル接続端子】
- 20 【メモリーカード挿入口】

USBクレードル

カメラをUSBクレードルにセットするだけで、次のようなことができます。

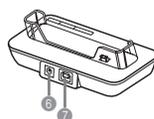
- 充電式電池を充電することができます(24ページ)。
- 撮影した画像を、自動的にパソコンに転送することができます(103ページ)。
- フォトスタンド機能を利用して、撮影した画像のスライドショーを見ることができます(72ページ)。

■前面部



- 1 【カメラ接続端子】
- 2 【PHOTO】
- 3 【USB】
- 4 【USB】ランプ
- 5 【CHARGE】ランプ

■後面部



- 6 【DC IN 5.3V】(外部電源端子)
- 7 【USB】(USB接続端子)

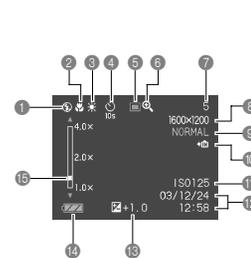
参考 • EX-M20に付属の液晶リモコンの各部の名称については、「オーディオプレイヤーを使う」(130ページ)をご覧ください。

準備する

液晶モニターの表示内容

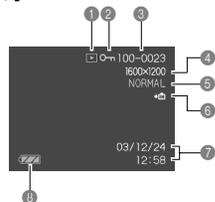
【液晶モニター】には、さまざまな情報が表示されます。

RECモード時



- 1 フラッシュモード表示
表示なし(自動発光)
⚡ (発光禁止)
⚡ (強制発光)
⚡ (赤目軽減)
- 2 フォーカスモード
なし(標準)
M (マクロ)
- 3 ホワイトバランス表示
表示なし(オート)
☀ (太陽光)
☀ (日陰)
🏠 (電球)
💡 (蛍光灯)
MWB (マニュアル)
- 4 セルフタイマー
なし(1枚撮影)
⌚ (セルフタイマー10秒)
⌚ (セルフタイマー2秒)
⌚ (トリプルセルフタイマー)
- 5 撮影モード
(静止画モード)
(ベストショットモード)
(ムービーモード)
(音声付静止画モード)
(EX-M20のみ)
(ボイスレコードモード)
(EX-M20のみ)
- 6 デジタルズーム表示
7 撮影可能枚数
- 8 画像サイズ
1600 × 1200 pixels
1600 × 1072 pixels
1280 × 960 pixels
640 × 480 pixels
ムービーモード時：秒数
- 9 画質
FINE (高精細)
NORMAL (標準)
ECONOMY (エコノミー)
- 10 メモリー表示
(内蔵メモリー使用中)
(メモリーカード使用中)
- 11 ISO感度
- 12 日付／時刻
- 13 露出補正表示
- 14 バッテリー残量表示
- 15 デジタルズームの倍率

PLAYモード時



- 1 ファイル形態
● (静止画)
● (動画)
● (音声付静止画) (EX-M20のみ)
● (ボイスレコード) (EX-M20のみ)
- 2 プロテクト表示
- 3 フォルダ名/ファイル番号
- 4 画像サイズ
1600 × 1200 pixels
1600 × 1072 pixels
1280 × 960 pixels
640 × 480 pixels
- 5 画質
FINE (高精細)
NORMAL (標準)
ECONOMY (エコノミー)
- 6 メモリー表示
● (内蔵メモリー使用中)
● (メモリーカード使用中)
- 7 日付/時刻
- 8 バッテリー残量表示

液晶モニターの表示内容を切り替える

【DISP】を使って、【液晶モニター】に表示される内容を切り替えることができます。



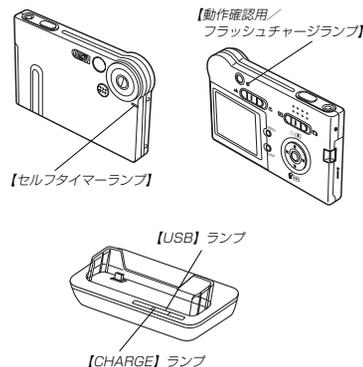
- 重要!**
- 下記のモードでは、「液晶モニターオフ」にはなりません。PLAYモード、ベストショットモード、ムービーモードの撮影待機中
 - ムービー撮影中と音声付き静止画の音声待機中/記録中は、【DISP】を使って【液晶モニター】の表示内容を切り替えることはできません。
 - ボイスレコードモードでは、「情報表示オン」と「液晶モニターオフ」の切り替えのみとなります。

21

準備する

ランプについて

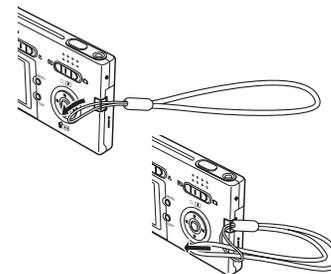
ランプの色や点灯、点滅によってカメラ本体やUSBクレードルの動作状況を知ることができます。詳しくは「ランプの状態と動作内容」(141ページ)をご覧ください。



22

ストラップを取り付ける

ストラップは、図のように【ストラップ穴】に取り付けます。



- 重要!**
- 本機操作時は落下を防止するため、必ずストラップに指を通した状態で使用してください。
 - 付属のストラップは本機専用です。他の用途に使用しないでください。
 - ストラップを持って本機を振り回さないでください。

電源について

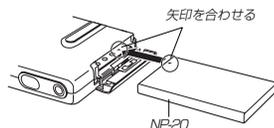
本機は専用リチウムイオン充電電池(NP-20)を電源として利用します。

充電式電池を入れる

1. 本体側面の【電池カバー】を押しながら、矢印の方向にスライドさせて開きます。



2. 図のようにカメラと電池の矢印を合わせるようにして、電池をセットします。



準備する

3. 【電池カバー】を図のように矢印の方向に押しつけながら、スライドして閉めます。



- 重要!**
- 電池は、必ず専用リチウムイオン充電電池(NP-20)をお使いください。他の電池は使用できません。

- 参考**
- 電池を取り出したいときは、【電池カバー】を開いてカメラを傾けてください。電池が少し出ますので、引き抜いてください。電池を落とさないようご注意ください。

電池は、最初充電されておりません。次ページに従って充電してください。

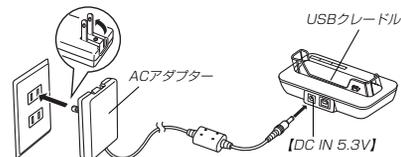
23

準備する

充電式電池を充電する

前ページに従って本体に専用リチウムイオン充電電池を入れてから、充電してください。

1. USBクレードルの【DC IN 5.3V】に付属のACアダプターを接続します。
2. ACアダプターのプラグを起こし、家庭用コンセントに接続します。

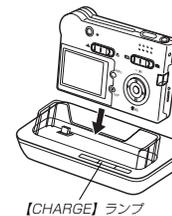


3. カメラの電源を切ります。

24

4. カメラをUSBクレードルの上にセットします。

- カメラの電源を入れたまま、USBクレードルの上にセットしないでください。
- USBクレードルの【CHARGE】ランプが赤色に点灯し、充電を開始します。充電を完了すると、【CHARGE】ランプが緑色の点灯に変わります。



5. 充電を完了したら、USBクレードルからカメラを取りはずします。

- USBクレードルを片手で押さえ、カメラを時計回りに回転するようにすると、カメラをUSBクレードルからスムーズに抜くことができます。

準備する

重要! ●約2時間*でフル充電されます。

* 充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって変化します。

- 専用リチウムイオン充電電池(NP-20)の充電は、必ずUSBクレードル(CA-23)または別売の専用充電器(モバイルチャージャー:BC-10L)をお使いください。他の充電器は使用できません。
- ACアダプターは、必ず付属のACアダプターをお使いください。それ以外のACアダプターは使用しないでください(別売品:AD-C40/C620J/C630Jは使用できません)。
- ACアダプターは100~240Vの電源に対応していますが、使用する国によってはプラグ形状が合わないなどの問題があるため、現地で使用可能かどうかを事前にご確認ください。
- カメラの【クレードル接続端子】は、USBクレードルの【カメラ接続端子】にしっかりと差し込んでください。
- カメラ使用直後や周辺温度が高温状態または低温状態で充電しようすると、充電が開始されない場合があります(【CHARGE】ランプがオレンジ色に点灯します)。その場合は常温で放置してください。電池の温度が充電可能な温度になると、充電を開始します(【CHARGE】ランプが赤色点灯に変わります)。

- 充電中にエラーが起こったときは【CHARGE】ランプが赤色に点滅します。原因は、本体の不良、カメラや電池のセット(装着)不良、電池不良です。USBクレードルからカメラを取りはずし、カメラが動作するか確認してください。カメラが動作する場合は、電池を使い切ってから充電してください。
- 動作しない場合は、電池のセット不良の可能性がります。電池をカメラからはずし、電池接点部が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、乾いた布で拭いてください。また、ACアダプターのコンセントやプラグがはずれかけていないか確認してください。
- 上記確認の後、再度USBクレードルにカメラをセットしても同じ症状になる場合は、カシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。
- USBクレードル上では、フォトスタンド機能、充電およびUSB通信しかできません。

25

準備する

■電池寿命の目安

下記の電池寿命は、温度23℃で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間、または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

連続撮影枚数(撮影時間)*1	約720枚(約2時間)
標準撮影枚数(撮影時間)*2	約190枚(約1時間35分)
連続再生時間(静止画)*3	約3時間
ボイスレコード録音時間*4	約2時間50分
オーディオ再生時間*5	約7時間30分

使用電池: NP-20(定容量値: 680mAh)

●測定条件

- ※1 連続撮影
温度(23℃)、液晶モニターオン、フラッシュ非点灯、約10秒に1枚撮影
- ※2 標準撮影
温度(23℃)、液晶モニターオン、フラッシュ発光(2枚に1回)、約30秒に1枚撮影、10回撮影に1度電源を切/入操作
- ※3 連続再生
温度(23℃)、約10秒に1枚ページ送り
- ※4 ボイスレコード録音時間は、連続で録音したときの時間です。
- ※5 オーディオ再生時間は、連続で再生(ヘッドホン出力)したときの時間です。

26

- ボイスレコード録音時間/オーディオ再生時間は、EX-M20の場合のみです。
- 上記数値は、新品の電池のフル充電状態での数値です。繰り返し使用する、電池寿命は徐々に短くなります。
- フラッシュの使用頻度や電源が入った状態の時間により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。

■電池を長持ちさせるために

- フラッシュを使用しないで撮影するときは、フラッシュの発光方法を⑧(発光禁止)に設定してご使用いただくと、電池寿命が長くなります(38ページ参照)。
- 【DISP】を押して【液晶モニター】をオフにすると、消費電力が小さくなります。

■バッテリー残量表示

電池が消耗すると【液晶モニター】に表示されているバッテリー残量表示が下記表のように変化します。④の状態は電池残量が少ないことを表しています。⑤の状態では撮影できません。速やかに電池を充電し直してください。

電池残量	多 ← → 少
画面情報表示	④ → ⑤

準備する

電源に関する使用上の注意

■電池使用時の注意

使用上のご注意

- この電池は、カシオデジタルカメラ専用のリチウムイオン充電電池です。適応機種については、お使いのカメラの取扱説明書でご確認ください。
- 充電は必ず専用の充電器(デジタルカメラとUSBクレードル)または別売の専用充電器(モバイルチャージャー:BC-10L)を使用してください。他の充電器は使用できません。
- 電池は、最初は充電されておりません。必ず最初に充電してください。
- 寒い場所では、電池の特性上、十分に充電された電池を使用しても、使用時間が短くなります。
- 充電は10℃~35℃の温度範囲で行ってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、十分な充電ができないことがあります。
- 充電直後でも電池の使用時間が大幅に短くなった場合は、電池の寿命と思われるので、新しいものをお買い求めください。

保存上のご注意

- リチウムイオン充電電池は小型で大容量の電池ですが、充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。
 - しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
 - 使用しないときは必ず充電電池をデジタルカメラから取りはずしてください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微量電流が流れていますので、電池が消耗し、充電に時間がかかったり、こわれたりします。
 - 乾燥した涼しい場所(20℃以下)で保管してください。

27

準備する

■充電式電池の取扱について

●リサイクルのお願い



Li-ion

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

<最寄りのリサイクル協力店へ>

- 詳細は、社団法人 電池工業会小形二次電池再資源化推進センターのホームページをご参照ください。
- ホームページ <http://www.JBRC.com/>

●使用済み充電式電池の取扱注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

28

■USBクレードル/ACアダプター使用時の注意



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・事故・感電の原因となります。
- ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。火災・故障・感電の原因となります。
- 万一、ACアダプターの電源コードが傷んだら(芯線の露出・断線など)、販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・故障・感電の原因となります。

- ACアダプターを抜き差しする際は、必ずカメラをUSBクレードルから取りはずした状態で行ってください。
- 充電中、USB通信中、フォトスタンド機能使用中、ACアダプターは若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから必ずはずしてください。
- ACアダプターの上に毛布などがかぶさらないようにしてください。火災の原因となります。

27

電源を入れる／切る

電源の入／切は【電源ボタン】で行います。

【電源ボタン】を押すと電源が入り、【動作確認用／フラッシュチャージランプ】が緑色に一瞬点灯します。再度【電源ボタン】を押すと、電源が切れます。



【電源ボタン】

重要! オートパワーオフ機能により電源が切れた場合は、【電源ボタン】を押して、再度電源を入れてください。

電池の消費を抑えるための機能(オートパワーオフ)

本機の電源を入れたままで一定時間操作しないと、電池の消費を抑えるために電源が切れます。

1. 電源を入れ、【モードスイッチ】を「」(REC)または「」(PLAY)に合わせます。
2. 【MENU】を押します。
3. 【◀】|【▶】で「設定」タブを選びます。
4. 【▲】|【▼】で「オートパワーオフ」を選び、【▶】を押します。
 - メニューのたどりかたについては30ページを参照してください。
5. 【▲】|【▼】で設定内容を選び、【SET】を押します。
 - 2分：約2分で電源が切れます。
 - 5分：約5分で電源が切れます。

重要! 以下の状態では、オートパワーオフは動きません。

- 本機のUSBクレードルを通じて本機を外部のパソコンなどと接続しているとき
- スライドショー中
- ボイスレコードファイル再生中(EX-M20のみ)

29

メニュー画面の操作について

本機ではメニュー画面を使用してさまざまな操作を行います。この操作をまず覚えてください。【MENU】を押すと、メニュー画面が表示されます。メニューの内容はREC(撮影)モードとPLAY(再生)モードでは異なります。ここでは例としてRECモードでの操作を説明します。

1. 電源を入れ、【モードスイッチ】を「」(REC)に合わせます。
 - PLAYモードにして操作を行うときは「」(PLAY)に合わせます。

【モードスイッチ】



2. 【MENU】を押します。



30

●メニュー画面で使うキーについて

【◀】 【▶】	タブを選びます。【▶】は項目の決定にも使います。
【▲】 【▼】	設定項目を選びます。
【SET】	選択した項目に決定します。
【MENU】	メニュー画面の操作を中断します。

3. 【◀】|【▶】で設定したい項目のあるタブを選びます。

4. 【▲】|【▼】で設定したい項目を選び、【▶】を押します。
 - 【▶】を押す代わりに【SET】を押しても、次の画面に移ります。



例) 設定項目「フラッシュ」を選んだ場合

5. 【▲】|【▼】で設定内容を選びます。

6. 選択した内容を決定します。

- 【SET】を押すと内容が決定されて、メニュー画面から出ます。
- 【◀】を押すと内容が決定されて、メニュー画面に戻ります。
- 続けて他の項目を設定することができます。
- 他のタブに移りたいときは、【◀】を押して、【▲】でタブに戻り、【◀】|【▶】で他のタブに移ってください。
- メニューの内容については「メニュー一覧表」(139ページ)を参照してください。

表示言語／日時を設定する

お買い上げ後初めて撮影をする前に、下記の設定を行ってください。

- 画面のメッセージの言語設定
- 自宅の都市の設定
- 表示スタイルの設定
- 日時設定(この日時は、印刷情報などに利用されます)

重要! 電池やUSBクレードルで電源が供給されないと、日時がリセットされてしまいます。その場合は、日時設定画面が表示されますので、再度日時を設定してください。

- 電池が消耗した状態で放置すると、約2日で日時がリセットされます。
- 日時がリセットされているときに電源を入れると、毎回、日時設定画面が表示されます。
- 日時を設定しないと、間違った時間データによって記録されてしまいますので、必ず設定してください。

31

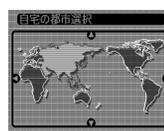
1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。

2. 【▲】|【▼】|【◀】|【▶】で言語を選び、【SET】を押します。

日本語 : 日本語
English : 英語
Français : フランス語
Deutsch : ドイツ語
Español : スペイン語
Italiano : イタリア語
Português : ポルトガル語
中國語 : 中国語(繁体)
中国語 : 中国語(简体)
한국어 : 韓国語



3. 【▲】|【▼】|【◀】|【▶】で自分の住んでいる地域を選び、【SET】を押します。



4. 【▲】|【▼】で自分の住んでいる都市を選び、【SET】を押します。
 - 日本で使う場合は「Tokyo」を選んでください。



5. 【▲】|【▼】でサマータイムの設定を選び、【SET】を押します。
 - 入：サマータイムになります。
 - 切：通常の時刻になります。
 - 日本で使う場合は「切」を選んでください。

6. 【▲】|【▼】で画面に表示される日付のスタイルを選び、【SET】を押します。
 - 例) 2003年12月24日
 - 年/月/日：03/12/24
 - 日/月/年：24/12/03
 - 月/日/年：12/24/03



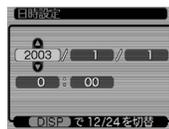
32

7. 日付と時刻を合わせます。

【▲】【▼】を押す：
カーソル(選択枠)の部分の数字などを変えます。

【◀】【▶】を押す：
カーソル(選択枠)を移動します。

【DISP】：
12時間表示と24時間表示の切り替えができます。



8. [SET]を押して、設定を終了します。

撮影する

本機では被写体の明るさに応じてカメラがシャッター速度を自動的に調整します。撮影された画像は、順次内蔵フラッシュメモリーに保存されます。

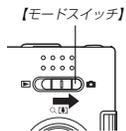
●市販のメモリーカード(SDメモリーカードまたはMMC(マルチメディアカード))に保存することもできます(98ページ)。

1. 【電源ボタン】を押して、電源を入れます。

- 【液晶モニター】に画像またはメッセージが表示されます。

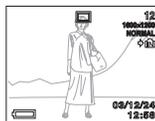
2. 【モードスイッチ】を“**○**”(REC)に合わせます。

- RECモードになり、撮影できる状態になります。



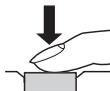
3. 【液晶モニター】を被写体に合わせます。

- 【ファインダー】から被写体を見て撮影することもできます。
- 【ファインダー】から被写体を見るときは【液晶モニター】を消して電力の消費を減らすことができます(21ページ)。



4. 【シャッター】を押します。

- 画像が撮影されます。



- サイズ、画質によって保存できる枚数が異なります(41、149ページ)。
- 被写体との距離や【ファインダー】を覗く角度によって、実際に写る範囲と異なります。

撮影する(基本編)

ここでは最も基本的な撮影方法について説明します。

基本的な撮影のしかた

カメラの正しい構えかた

カメラは両手でしっかりと持って、撮影してください。片手で持つと、手ぶれを起こす恐れがあります。

●横に持つ場合



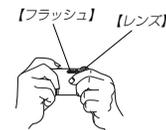
両手でカメラをしっかり持ち、脇をしっかりと締めてください。

●縦に持つ場合



縦に持つ場合は、【レンズ】より【フラッシュ】が上にくるようにして、カメラをしっかり持ってください。

重要! ●指やストラップが、右記の部分にかからないように注意してください。



参考 ●【シャッター】を押し切った瞬間にカメラがぶれると、きれいな画像が撮れませんので、正しく構えて、【シャッター】を静かに押し、【シャッター】を押し切った瞬間にカメラが動かないようにしてください。特に暗い場所で撮影するときは、シャッター速度が遅くなるので、注意してください。

撮影する(基本編)

撮影時の画面のご注意

- 撮影時、【液晶モニター】に表示される被写体の映像は、フレーム確認のための簡易画像です。撮影した内容は、選択した画質で記録されており、出力画素数は確保されています。メモリーには精細な画像で記録されています。
- 被写体の明るさにより、撮影時の【液晶モニター】の表示速度が遅くなったり、ノイズが出る場合があります。

撮影時のご注意

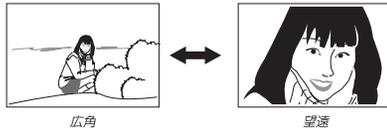
- 【動作確認用ノフラッシュチャージランプ】が緑色に点滅している間に【電池ブタ】を開けたり、カメラをUSBクレードルにセットすることは、絶対にお止めください。今撮影した内容が記録されないばかりでなく、撮影済みの内容が破壊されたり、カメラが正常に動作しなくなるおそれがあります。
- メモリーカードに記録中は、メモリーカードを抜かないでください。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、本機は蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、撮影するタイミングによって、微妙に撮影画像の明るさや色合いが変わる場合があります。
- ISO感度が“オート”の場合(58ページ)、被写体の明るさに応じて感度が自動的に変化します。被写体が暗いと画像にノイズがのる場合があります。
- ISO感度が“オート”の場合(58ページ)、被写体が暗いときは感度を上げてシャッタースピードを速くするようにしていますが、フラッシュの発光方法(38ページ)が**ⓧ**(発光禁止)のときには手ぶれに注意してください。
- 不要な光がレンズに当たる場合は、手で遮光してから撮影してください。

ズームを使って撮影する

本機のズームは、デジタルズームを採用しています。デジタルズームは画面の中央を拡大して記録します。ズームの倍率は次の通りです。

倍率：1～4倍

- RECモードにして[MENU]を押します。
- [◀][▶]で“撮影設定”タブを選びます。
- [▲][▼]で“デジタルズーム”を選び、[▶]を押します。
- [▲][▼]で“入”を選び、[SET]を押します。
 - “切”を選ぶと、デジタルズームは動きません。
- [▲][▼]でズームの倍率を変えます。
 - [▲]を押す：望遠になります。
 - [▼]を押す：広角になります。



37

フラッシュを使って撮影する

撮影条件に合わせてフラッシュの発光方法を切り替えることができます。

- RECモードにして[MENU]を押します。
- [◀][▶]で“撮影設定”タブを選びます。
- [▲][▼]で“フラッシュ”を選び、[▶]を押します。
- [▲][▼]でフラッシュの発光方法を選び、[SET]を押します。
 - オート(自動発光)：露出に合わせて自動的に発光します。
 - ☹(発光禁止)：露出に関係なく発光しません。
 - ⚡(強制発光)：露出に関係なく強制的に発光します。
 - ☺(赤目軽減)：フラッシュ撮影時に人の目が赤く写ることを軽減します。露出に合わせて自動的に発光します。

- 撮影します。

38

- 重要!**
- フラッシュ撮影時、フラッシュは数回発光します。最初にプリ発光(露出情報を得るための予備発光)し、最後にメイン発光(フラッシュ撮影のための発光)することにより、最適な発光量でフラッシュ撮影が行われます。
 - 動作確認用/フラッシュチャージランプがオレンジ色で点滅中に[シャッター]を押しても、撮影できない場合があります。

- 参考**
- キーカスタマイズ機能を使うと、[◀][▶]または[▲][▼]でフラッシュの発光方法が変更できるように切り替えられます(59、60ページ)。

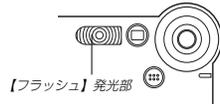
■赤目軽減機能について

夜や暗い室内などで人物をフラッシュ撮影したとき、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュ光が目の網膜に反射するために起こる現象です。赤目軽減機能を使うと、フラッシュ撮影する前に赤目用プリ発光(写す人の瞳孔を小さくするための発光)することにより、人の目が赤く写ることを軽減します。

- 重要!**
- 赤目軽減機能により撮影する場合は、下記の点に注意してください。
 - 写される人がフラッシュを注視していないと効果がありません。撮影する前にフラッシュを見るように声をかけておいてください。
 - 被写体までの距離が遠いと、効果が現れにくい場合があります。

フラッシュ使用時のご注意

- 【フラッシュ】発光部が指で隠れないようにしてください。隠れてしまうとフラッシュ本来の効果が得られなくなります。



- フラッシュによる撮影距離は下記の通りです。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。
 - 約0.8m～約1.5m(ISO感度：オート時)
- フラッシュの充電時間は、そのときの使用条件(電池の状態や温度等)により異なります。
 - 数秒～10秒程度(フル充電の場合)
- ムービーモードの場合は、フラッシュは発光しません。このとき☹(発光禁止)が表示されます。
- 電池が消耗するとフラッシュの充電ができなくなることがあります。このとき☹(発光禁止)が点灯し、フラッシュが正常に発光せずに適正な露出が得られないことを示します。速やかに電池を充電してください。
- ☺(赤目軽減)では露出に合わせて自動的に発光するため、明るい場所ではフラッシュは発光しません。
- フラッシュを使用した場合は、外光や蛍光灯などの光源があると色味が変わることがあります。

39

セルフタイマーを使って撮影する

[シャッター]を押してから約10秒または約2秒後に撮影することができます。また、3枚連続でセルフタイマー撮影する(トリプルセルフタイマー)こともできます。

- RECモードにして[MENU]を押します。
- [◀][▶]で“撮影設定”タブを選びます。
- [▲][▼]で“セルフタイマー”を選び、[▶]を押します。
- [▲][▼]でセルフタイマーの時間を選び、[SET]を押します。
 - 10秒：10秒後に撮影されます。
 - 2秒：2秒後に撮影されます。
 - ×3：10秒後に1枚、その後撮影準備完了の1秒後に1枚、さらに撮影準備完了の1秒後に1枚と、合計3枚撮影されます(トリプルセルフタイマー)。
 - 切：セルフタイマーは使用できません。

- 撮影します。

- 【セルフタイマーランプ】が点滅し、約10秒、または2秒後に撮影されます。
- カウントダウン中に[シャッター]を押すと、セルフタイマーを解除することができます。



- 参考**
- シャッター速度が遅いときにセルフタイマーの2秒の設定を使用すると手ぶれ防止になります。
 - トリプルセルフタイマーでは、次の撮影準備が終わると“1sec”と表示され、約1秒後に撮影されます。撮影準備完了までの時間は、画像の“サイズ”や“画質”と使用するメモリー・フラッシュ充電の有無によって異なります。
 - キーカスタマイズ機能を使うと、[▲][▼]でセルフタイマーの設定ができるように切り替えられます(60ページ)。

40

- 撮影します。

- 重要!**
- 【液晶モニター】をオフに設定している場合は、ズームを使って撮影することはできません(21ページ)。
 - デジタルズームを使って撮影すると、画像が粗くなります。
 - デジタルズームを解除したいときは、“撮影設定”タブの“デジタルズーム”を“切”に設定してください。

- 参考**
- キーカスタマイズ機能を使うと、[▲][▼]でデジタルズームの設定ができるように切り替えられます(60ページ)。

近くの物を撮影する(マクロ撮影)

本機は、撮影したい被写体までの距離に応じて、標準/マクロ(接写)の切り替えができます。

	焦点距離	位置
標準	約1m～∞	▲
マクロ(接写)	約30cm	☺

- 焦点距離はレンズ前面から被写体までの距離です。

- 近くの物を撮影する場合は【標準/マクロ切替スイッチ】を“☺”に合わせます。

【標準/マクロ切替スイッチ】



- 撮影します。

- 重要!**
- マクロのときは【液晶モニター】に☺が表示されます。
 - 通常は【標準/マクロ切替スイッチ】を▲に合わせてください。

39

画像サイズと画質を変える

本機は撮影する内容に応じて、画像サイズと画質の切り替えができます。

画像サイズを変更する

- RECモードにして[MENU]を押します。
- [◀][▶]で“撮影設定”タブを選びます。
- [▲][▼]で“サイズ”を選び、[▶]を押します。
- [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。

1600×1200	: 1600×1200pixelsで記録します。
1600×1072(3:2)	: 1600×1072pixelsで記録します。
1280×960	: 1280×960pixelsで記録します。
640×480	: 640×480pixelsで記録します。

- 参考
- 大きくプリントするなど、画質を優先したい場合は“1600×1200”などのpixels数が大きな画像を選び、メールで画像データを送ったり、多くの画像を撮影するなど、容量を小さくしたい場合は“640×480”を選んでください。
 - “1600×1072(3:2)”を選ぶと、プリント紙の縦横比3:2に合うように、画像を3:2の比率で撮影します。

41

画質を変更する

- RECモードにして[MENU]を押します。
- [◀][▶]で“撮影設定”タブを選びます。
- [▲][▼]で“画質”を選び、[▶]を押します。
- [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。

高精細	: 高画質で記録します。
標準	: 標準の画質で記録します。
エコノミー	: 低画質で記録します。

- 参考
- 画質が“高精細”→“標準”→“エコノミー”となるに従って、画像容量は小さくなります。画質を優先するときは“高精細”を、撮影枚数を優先するときは“エコノミー”を選んでください。

- 重要!
- 撮影した画像によってファイルサイズが異なるため、実際の撮影可能枚数と画面上の表示枚数が一致しない場合があります(20、149ページ)。

42

撮影する(応用編)

本機はさまざまな機能の切り替えにより、多彩な応用撮影ができます。

露出を補正する(EVシフト)

本機は撮影時の明るさに応じて、露出値(EV値)を下記の値に手動で補正することができます。逆光での撮影、間接照明の室内、背景が暗い場合の撮影などに利用すると、より良好な画像が得られます。

露出補正值 : -2.0EV ~ +2.0EV
補正単位 : 1/3EV

- RECモードにして[MENU]を押します。
- “撮影設定”タブ→“EVシフト”と選び、[▶]を押します。



露出補正表示

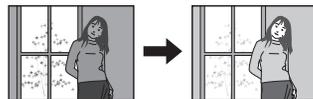
- [▲][▼]で露出補正值を選び、[SET]を押します。

- これで露出補正值が設定されました。



露出補正表示

- [▲] : 方向に補正されます。白い物の撮影や逆光での撮影のときに押します。



- [▼] : 方向に補正されます。黒い物の撮影や晴天の野外などのときに押します。



- 露出補正值をもとに戻したいときは、反対方向に露出補正して“0.0”に合わせてください。

43

- 撮影します。

- 重要!
- 明るすぎたり、暗すぎたりするときは、露出補正ができない場合があります。

- 参考
- EVシフトを行うと、測光方式が自動的に中央重点測光(中央部を重点的に測光します)に切り替わります。EVシフトを“0.0”に戻すとマルチパターン測光(画面全体を分割し、それぞれのエリアの測光データを元に露出を決めます)に戻ります。
 - キーカスタマイズ機能を使うと、[◀][▶]で露出値が補正できるように切り替えられます(59ページ)。

ホワイトバランスを変える

被写体は、太陽光や電球の光など光源の波長によって色味が異なっています。ホワイトバランスとは、被写体を自然な色合いで撮影できるように白を基準に色味を調整することです。

- RECモードにして[MENU]を押します。
- “撮影設定”タブ→“ホワイトバランス”と選び、[▶]を押します。



- [▲][▼]で設定内容を選び、[SET]を押します。

オート : 自動的にホワイトバランスを調整します。

☀ (太陽光) : 屋外での撮影時

☁ (日陰) : 日陰で青みがかるとき

💡 (電球) : 電球下で赤みがかるとき

💡 (蛍光灯) : 蛍光灯下で緑がかるとき

マニュアル : 現在の光源に合わせて手動で設定します。詳しくは「マニュアルホワイトバランスを設定する」(45ページ)を参照してください。

44

- 参考
- “マニュアル”を選ぶと、前回マニュアルホワイトバランスを設定した際の値に設定されます。
 - キーカスタマイズ機能を使うと、【◀】【▶】または【▲】【▼】でホワイトバランスが変更できるように切り替えられます(59、60ページ)。

マニュアルホワイトバランスを設定する

ホワイトバランスの“オート”では光源によって自動調整の処理に時間がかかったり、調整できる範囲(色温度)に限界があります。マニュアルホワイトバランスを使うと、さまざまな光源下で適正な色に調整することができます。マニュアルホワイトバランスの設定は、白い紙などを画面一杯に写した状態で行ってください。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影機能”タブ→“ホワイトバランス”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“マニュアル”を選びます。
 - 【液晶モニター】には、前回調整したバランスで被写体が表示されます。



45

4. 画面全体に白い紙などを写した状態で【シャッター】を押します。



- “完了”と表示されたら、ホワイトバランスの調整は完了です。
 - 暗い所や色の濃いものでホワイトバランスを調整すると時間がかかります。
5. 【SET】を押します。
 - ホワイトバランスを決定し、撮影ができる画面に戻ります。

46

さまざまなシーンを選んで撮影する(ベストショットモード)

15種類のシーンの中から撮影したいシーンを選ぶと、自動的にそのシーンに最適な設定になります。

■シーンのサンプル画像例



1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“ベストショット”を選び、【SET】を押します。
 - ベストショットモードになり、シーンのサンプル画像が表示されます。
4. 【◀】【▶】で撮影したいシーンを選び、【SET】を押します。
5. 撮影します。



- 重要!**
- No.4のシーンについては「カップリングショット」(49ページ)、No.5のシーンについては「プリショット」(51ページ)をご覧ください。
 - シーンに使用されているサンプル画像は本機で撮影されたものではありません。イメージ画像です。
 - 被写体の条件によっては、十分な効果が得られなかったり、正しく撮影されない場合があります。
 - シーンを選んだ後から【SET】を押すことにより、シーンを選び直すことができます。

- 参考
- キーカスタマイズ機能を使うと、【◀】【▶】で撮影モードをベストショットモードに切り替えることができます(59ページ)。
 - ベストショットモードで電源を入れたとき、または【◀】【▶】で撮影モードをベストショットモードに切り替えたとき、約2秒間、操作ガイドと現在選ばれているシーンのサンプル画像が表示されます。



47

撮影したいシーンを登録する(カスタム登録)

今まで撮影した画像の設定内容をベストショットモードに読み込んで、呼び出すことができます。呼び出した画像の設定内容と同じ設定で撮影することができます。

1. RECモードにして【MENU】を押します。
2. “撮影設定”タブ→“撮影モード”と選び、【▶】を押します。
3. 【▲】【▼】で“ベストショット”を選び、【SET】を押します。
 - シーンのサンプル画像が表示されます。
4. 【◀】【▶】を押して“新規登録”を表示させます。



5. 【SET】を押します。

6. 【◀】【▶】を押して読み込む画像を選びます。



7. 【▲】【▼】で“登録”を選び、【SET】を押します。
 - 登録が完了します。
 - 撮影できる状態になります。以降、47ページと同じ操作により、この設定を選んで撮影することができます。



48